

# 「北の鉄路を守ろう」

## JR札幌駅前「いちの日」行動

雪明かりに映える「北の鉄路を守ろう」と書いた大横断幕。JR北海道が狙う路線廃止に反対する「北の鉄路存続を求める会」は

雪明かりに映える「北の鉄路を守ろう」と書いた大横断幕。JR北海道が狙う路線廃止に反対する「北の鉄路存続を求める会」は

11日、「いちの日」行動をJR札幌駅前できり広げました。鉄道の存続・再生を求める署名を呼びかけると、通行人が足を止め、ペンを



会のメンバーと訴える畠山氏（中央）＝11日、札幌市

取りました。

札幌市東区の浦野助政さん(70)は力を込めました。「人が住んでいるところはどこでも鉄道が使えるように、道の責任で守るべきです。首都圏もへき地も国民の権利を平等に扱えといたい」

父親が国鉄で働いていたという北区の女性も「鉄道がなくなれば町がさびれてしまう。こんなに鉄路がなくなつたのはJR北海道の怠慢ではないでしょうか」と憤ります。

小室正範同会事務局長(日本共産党札幌市議候補)は「財政力の乏しい自治体を国が支援しないのは許されません。鉄路は物流の大事な柱です。守るために声をあげていきましょう」と訴えました。日本共産党の畠山和也前衆院議員が参加しマイクを握りました。